

募集

**「障害を理由とする差別を受けたと思った事例」、
「障害のある方への配慮の良い事例」などを募集します**

1 目的

平成 28 年4月に施行された、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法。以下「法」という。)は、障害の有無によって分け隔てられることのない共生社会を実現するため、民間事業者や行政機関を対象に障害を理由とする「不当な差別的取扱いの禁止」や、障害のある方への「合理的配慮の提供」などを求めています(民間事業者の合理的配慮の提供は実施に努めることを求めています。)。また、国民の責務として、障害を理由とする差別の解消の推進に努めなければならないとされています。

しかし、法が施行されただけでは、障害を理由とする差別がすぐに解消されるわけではなく、行政機関はもちろん、民間事業者、都民一人ひとりの更なる理解と協力が必要です。

そこで東京都では、法施行後の現在、どのような差別事例が引き続き起こっているのか、また、法が求める「合理的配慮の提供」がどのように実践されているのかを速やかに把握し、障害を理由とする差別を無くすための取組を進めていくため、「障害を理由とする差別を受けたと思った事例」や、「障害のある方への配慮の良い事例」を広く募集することにしました。

寄せられた事例は、東京都が進める差別解消法の普及啓発や体制整備に向けた取組の検討資料とさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

2 募集内容

主に法施行後の 28 年度以降に、ご自身で体験したり、見聞きした①「障害を理由とする差別を受けたと思った事例」・「適切な配慮がなくて困った事例」、②「障害のある方への配慮の良い事例」を募集します。①、②いずれか一方の事例を応募することも、両方の事例を応募することもできます。

勤務先や通所先、学校、住まい(家庭やグループホームなど)、交通機関や道路、お店、病院、役所の窓口、公共施設、イベント会場、その他日常生活のさまざまな場面において、体験したことや見かけたこと、聞いたことをご寄せください。

○ 「障害を理由とする差別を受けたと思った事例」・「適切な配慮がなくて困った事例」の例

(これらに限りません)

- ・ お店に入ろうとしたら、盲導犬や聴導犬が一緒であるため入店を拒否された。
- ・ 賃貸物件を借りようとしたら、障害者向け物件はないと言って対応を拒否された。
- ・ 障害があることを理由に診察を拒否された。
- ・ お店でメニューを読んでほしいとお願いしたが、嫌な顔をされて対応してもらえなかった。

○ 「障害のある方への配慮の良い事例」の例(これらに限りません)

- ・ お店に入ると、車いすでも手が届く高さに商品が配置されていた。
- ・ 受付で待っている時、落ち着いた場所で待てるように別室を案内してもらった。
- ・ タクシーに乗ろうとした時、乗降の補助や車いすの収納を快く対応してくれた。

3 募集対象

東京都にお住まいの方、又は東京都内に通学、通勤、通所している方

4 募集期間

平成 28 年 10 月 17 日(月)から平成 28 年 12 月 16 日(金)まで

5 応募方法

応募用紙にご記入の上、以下の宛先まで、郵送、FAX、又はEメールでお送りください。

○ 住 所 〒163-8001 東京都西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎 18 階南側
福祉保健局 障害者施策推進部 計画課 権利擁護担当

○ FAX 03-5388-1413

○ Eメール S0000230@section.metro.tokyo.jp

- ・ 応募用紙を添付、又はメール本文に直接記載してください。
- ・ 件名は「事例の応募」としてください

6 留意事項

- 事例については、場面や場所など、どこで起こったことなのかが分かるよう、できる限り具体的にお書きください。ただし、個人が特定される情報(氏名など)は書かないでください。
- 法施行後の 28 年度以降に起こった事例を主に募集しておりますが、詳細な時期が不明であったり、27 年度から引き続き起こっている場合などにより、28 年度以降かどうか明確に判断することが難しい案件についても応募いただいても構いません。
- お寄せいただいた事例への回答は行いませんのでご了承ください。
- 言葉の意味や内容が分からないときや、自分で書くことが難しい場合は、まわりの人に相談してみてください。

【問い合わせ先】

東京都福祉保健局障害者施策推進部計画課 権利擁護担当

電話 03-5320-4559

FAX 03-5388-1413

メール S0000230@section.metro.tokyo.jp